

教育研究等業績書(業績目録)

令和4年 9月 30日

氏名 谷萩真樹

教育上の能力に関する事項

| 事 項 | 年 月 日 | 概 要 |
|--|--------------------------------|--|
| <p>1 教育方法の実践例</p> <p>公立大学法人 都留文科大学 国際教育学科 特任講師</p> <p>交換留学の留学生受け入れ担当業務</p> <p>および、以下の担当授業</p> <p>1 Global Environmental Governance</p> <p>2 Environmental Issues in Modern Society</p> <p>3 Japanese Culture Fieldwork</p> <p>4 Co-creative Internship</p> | <p>令和元年4月～ 令和4年3月末まで</p> | <p>大学の新学科である国際教育学科の看板事業として北欧交換留学(教育学の学生同士)の開発と受け入れ態勢の充実、および、北欧からの留学生と日本人学生が共に英語で学ぶ授業やイベントの開発を担当してきた。併せて、留学生の生活サポートや、提携している10大学の留学担当者との会議、打ち合わせ、連絡作業も担当した。</p> <p>環境教育系の2つの授業では、英語を共通言語として、内容が深く難しいテーマに対して、(母国語でない英語で)いかに理解しやすい授業にするかという点に工夫を凝らした。対話形式を多用して全員が参加して話しやすい雰囲気を作り、授業を通じた国際交流の推進、および学生との双方向性の授業を展開してきた。</p> <p>「Japanese Culture Fieldwork」では、北欧の学生が地域の魅力を体験的に発見して、座禅体験などの日本文化および、地域コミュニティとの連携を推進した。柔軟かつ斬新な授業内容を試みた。「Co-creative Internship」では、学生と共に、山梨県内の学校を訪問して、様々な教育者と対話する授業作りを進めた。</p> |
| <p>公立大学法人 都留文科大学 地域社会学科 非常勤講師</p> <p>以下、担当科目名</p> <p>5「ワークショップ演習」</p> <p>6「英語で環境インタープリテーション」</p> <p>(全学共通教養科目)</p> <p>7「世界と自己」</p> | <p>平成30年4月～ 令和4年9月現在まで</p> | <p>地域社会学科の1年生の必修科目である「ワークショップ演習」では、「幸せな社会づくり」をテーマに、様々なテーマで対話型ワークショップの授業を体験して、後半では、学生がグループ発表形式でワークショップを開催する授業を展開してきた。</p> <p>「英語で環境インタープリテーション」では、エコツアーガイドとして活動してきた経験を活かして、英語で自然や文化を分かりやすく解説する技術を学生に教えてきた。</p> <p>「世界と自己」では、「人生と旅」「旅人の生き方」を切り口に「自己の中にある世界」と「外に広がる世界」をつなげて、広げることを目的としたオンライン授業で、令和2年度に開始してから、履修希望者数は大学全体でもトップクラスとなっている。</p> |
| <p>2 作成した教科書・教材</p> | <p>平成30年4月～ 令和4年9月現在まで</p> | <p>(都留文科大学にて)社会・環境の多様な課題を、その根底の原因や歴史的背景を学び、最新の研究成果やデータを分析して、具体的な諸問題に対する理解と対策を深く掘り下げて考えることを全体のテーマとした。そのために、毎回の授業ごとのテーマに沿って、(講師が作成した)オリジナル教材を配布してきた。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---------------------------|---|
| | 平成 17 年 12 月～ 25 年 5 月 | (オーストラリアでのエコツアーおよび環境教育事業において)参加者向けに、「エコツーリズムとは何か?」といった基本テーマから、「マングローブ」や「レインフォレスト」など、自然観察をする際に、参加者が学びやすいように工夫した学習テキストブックおよびワークシートを作成した。 |
| 3 その他 TV、雑誌、ガイドブックなどのメディアによる紹介 | 平成 21 年～24 年 | 世界遺産フレーザー島でのエコツアーや環境教育活動に関して、以下のメディアで取材を受けた。②と③は、撮影時の現地指導担当として参加。 ① 読売テレビ「グッと！地球便」(30分放送) ② NHK「グレートネイチャー」(30分放送) ③ TBS系列「THE世界遺産」(30分放送) ④ 地球の歩き方 オーストラリア版 巻頭特集「専門自然ガイドと共に世界遺産を徹底的に楽しむ！」ガイド紹介に1頁、ツアー紹介に2頁 ⑤ 月刊 留学ジャーナル 2010年11月号 巻頭特集「世界で働く7人の仕事と留学体験」など ⑥ 家教連家庭科研究「巻頭寄稿 生命への畏敬 フレーザー島」No.296 pp.1 2011年4月 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|---|----------------|---------------------|--|---|
| (論文) 「グローバル」×「地域連携」を通じたグローバル教育の実践研究 | 単著 pp.59-74 | 令和 4 年 4 月 1 日 | 都留文科大学研究紀要 第 95 集 | 北欧(デンマーク・スウェーデン・フィンランド)の教育大学と提携して開始した交換留学の担当教員として、グローバル教育の中に、地域コミュニティとの連携を進めることの意義や将来への展望を分析した。地方都市にある大学が、その特性を生かした留学プログラムを成功に導くための新しい工夫や展望を分析した。 |
| (論文) 「エコツーリズムにおける教育的価値の評価」 オーストラリアの国立公園での実践研究 | 単著 pp.1-34 | 令和 3 年 11 月 15 日 | 東京農工大学大学院連合農学研究科 共生教育学(降旗)研究室報 5 巻 1 号 | オーストラリア国立大学で環境サイエンスを専攻(学士取得)していた時から、エコツーリズムガイドの仕事を開始して、卒業後は新しく会社を起業して、本格的なエコツアーと環境教育プログラムを開発・担当してきた。その体験をもとに「エコツアーはどのような教育的効果があるのか?」という課題に対する調査及び考察を分析した。 |
| (実践報告) 「真のグローバル教育の追求 - 北欧交換留学における実務担当者としての報告および展望」 | 単著 pp.17-28 | 令和 2 年 8 月 1 日 | 都留文科大学国際教育学科 年報 第 3 巻 | 北欧交換留学の留学生受け入れ担当者としての実践報告、および、留学プログラムを行う目的や本質的意義、本学科の学生へのメッセージ、留学生と日本人が共に受ける授業における工夫、今後への展望や課題をまとめて報告した。 |

| | | | | |
|---|-------------------------------|-------------------------|--|---|
| (著書) エコツアーガイド養成講座 のためのテキスト [Eco Program Guide] | 単著 pp.1-70 | 平成 21年 7月1日 | Natura Pacific 社発行 & Inforum Education 社 | 2009年から2012年まで定期的に行われた5日間の留学生向けプログラム。コース全体を企画して、教材テキストやプレゼンテーション資料を作成した。(JTB留学センター、全国の大学生協、STAトラベルなどを通して販売)エコツアーガイドになるために必要な知識、技術、経験だけでなく、ツアー企画やプロのガイドになるまでの道を学ぶ本格的な集中講座。 |
| (実技歴) オーストラリアで、様々なエコツアーを主催(ガイドおよび、企画・営業・ツアー手配など) | 単独 または 他社との 共同 企画 | 平成17年 ~25年 | JTB, HIS など 多くの旅行代理店から、パンフレットや留学案内に掲載および販売 | 会社のツアーガイドおよびエコツアー部門代表として、様々なプログラムを企画立案および、実際のガイドングをしてきた。また、社内・社外で、エコツアーガイドの養成・トレーニングを手掛けた。 |
| 翻訳家としての活動 | | 平成27年 ~令和元年 | | 最先端医療(開発中の薬剤・医療機器)に関する国際的な調査を担当した。多くの医療関係者に対する詳細なインタビューを行い、担当者との英語での打ち合わせ、英文による報告レポートを300本以上作成(A4で4000頁相当の量)した。 2017年から、フリーランスとして独立後は、学術論文(学術ジャーナル誌)の校閲などを含めて、幅を広げて日⇄英翻訳を、今年度まで活動してきた。 |
| (口頭発表) Waste Management and its learning methods in Japan | 口頭発表 | 令和4年9 月24日 | Virtual Workshop on Japanese Model of Environmental Education | マレーシアの大学 UTAR の依頼により、日本環境教育学会の登壇者の一人として、日本のゴミ処理やリサイクルなどにおける対策や、子供たちの学習方法に関して発表した。(英語での発表) |
| 「農村における持続可能な 地域づくりに向けた住民の 学習」-農村ツーリズムに着 目して- | 口頭発表 | 令和4年8 月28日 | 日本環境教育学会第33 回年次大会 | 東京農工大の博士課程で進めている研究の研究計画と概要を学会にて対面発表した。環境保全型農業による地域活性化と環境教育の在り方や課題を、千葉県いすみ市の事例から考察した。 |
| 「世界遺産フレーザー島の 自然体形とエコツーリズム の役割」 | 単独 講演 | 平成21年 8月10日 | 日本大学 | 日本大学の大学生および教員・スタッフ、約50名に対して、世界遺産フレーザー島の自然体形や地理的特徴などに関する講演(2時間)をフレーザー島のホテルの会場を使い講演した。 |
| (その他) 留学センター等における講 演・トークショー | 単独 講演 | 平成20~ 24年の間 に約20回 | 留学センター や旅行代理 店など主催の イベント | 留学センター等で、留学やワーキングホリデーに興味を持つ若者達を集めた集会での講演などで、海外を旅する醍醐味やエコツアーの魅力に関して話した。 |